

製品安全データシート

作成日：2002/05/20
改訂日：2010/10/01

整理番号：No.A0205-16

1. 製品および会社情報

<製品名> SKダイナ1717DT

<会社情報>会社名 : 綜研化学株式会社
 住所 : 〒171-8531 東京都豊島区高田 3-29-5
 担当部門 : 粘着剤部
 電話番号 : 03-3983-3176
 F A X 番号 : 03-3983-2227
 緊急時の電話番号 : 04-2954-3261 (狭山事業所)
 発行部門 : 安全環境・品質保証室

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

<物理化学的危険性>

| | |
|-----------------------------|--------|
| 火薬類 | 分類対象外 |
| 可燃性／引火性ガス | 分類対象外 |
| 可燃性／引火性エアゾール | 分類対象外 |
| 支燃性／酸化性ガス類 | 分類対象外 |
| 高压ガス | 分類対象外 |
| 引火性液体 | 区分2 |
| 可燃性固体 | 分類対象外 |
| 自己反応性物質及び混合物 | 区分外 |
| 自然発火性液体 | 区分外 |
| 自然発火性固体 | 分類対象外 |
| 自己発熱性物質及び混合物 | 分類できない |
| 水と接触して可燃性／引火性ガスを発生する物質及び混合物 | 分類対象外 |
| 酸化性液体 | 分類対象外 |
| 酸化性固体 | 分類対象外 |
| 有機過酸化物 | 分類対象外 |
| 金属腐食性物質 | 分類できない |

<健康に対する有害性>

| | |
|-----------------------|--------|
| 急性毒性(経口) | 区分外 |
| 急性毒性(経皮) | 区分5 |
| 急性毒性(吸入：ガス) | 分類対象外 |
| 急性毒性(吸入：蒸気) | 区分5 |
| 急性毒性(吸入：粉塵、ミスト) | 分類できない |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 区分外 |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 区分2B |
| 呼吸器感作性または皮膚感作性：呼吸器感作性 | 分類できない |
| 皮膚感作性 | 区分1 |
| 生殖細胞変異原性 | 区分2 |
| 発がん性 | 区分2 |
| 生殖毒性 | 区分外 |

| | |
|-------------------|-------------|
| 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) | 区分 1 (呼吸器系) |
| 〃 | 区分 3 (麻酔作用) |
| 特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) | 区分 2 (呼吸器) |
| 吸引性呼吸器有害性 | 区分外 |
| <環境に対する有害性> | |
| 水性環境急性有害性 | 区分外 |
| 水性環境慢性有害性 | 区分外 |

<GHSラベル要素>

絵表示又はシンボル：



<注意喚起語>：危険

<危険有害性情報>：

- 引火性の高い液体および蒸気
- 皮膚に接触すると有害のおそれ
- 吸入すると有害のおそれ
- 眼刺激
- アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- 遺伝性疾患のおそれの疑い
- 発がんのおそれの疑い
- 呼吸器の傷害
- 昏睡およびめまいを起こすおそれ
- 長期または反復曝露により、呼吸器系の障害のおそれ

<予防策>：

- 容器を密閉しておくこと
- 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
- 保護手袋および保護眼鏡／保護面を着用すること。必要に応じて個人用保護具を着用すること。
- 容器および受器を設置すること。防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／設備を使用すること。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。火災を発生しない工具を使用すること。
- 取扱い後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 使用前にMSDS等を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと
- ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

<対 応>：

- 火災の際には、消火に泡、粉末、二酸化炭素を使用すること。
- 皮膚(または毛)にかかった場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。
- 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。皮膚を多量の水／流水／シャワーと石鹼で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
- 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

<保管> :

容器を密閉し、涼しい所／換気の良い場所で施錠して保管すること。

<廃棄> :

内容物／容器を(国際／国／都道府県／市町村の規則)に従って廃棄すること。

【GHS分類に該当しない他の危険有害性】

加熱すると分解し、刺激性、または有毒の気体（CO等）を生じる。

3. 組成・成分情報

区別 : 混合物
 化学名 : アクリル樹脂溶液
 成分及び含有量 :

| 成分名 | CAS No. | 化審法 No. | 含有量 (%) |
|---------------|------------|---------|---------|
| アクリル酸エステル共重合物 | 35239-19-1 | 6-362 | 40～50 |
| 粘着付与樹脂 | 登録済 | 登録済 | |
| 酢酸エチル | 141-78-6 | 2-726 | 50～60 |
| 酢酸ビニル | 108-05-4 | 2-728 | 1～10 |

危険有害成分 :

酢酸ビニル ; 含有量 1.8%

安衛法 57 条の 2 通知対象物質

P R T R 法 第一種指定化学物質 (政令No.134)

酢酸エチル ; 含有量 50～60%

安衛法 57 条の 2 通知対象物質

4. 応急処置

吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移動させ安静にする。呼吸が弱い場合や、停止している場合は、衣服を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。呼吸していて嘔吐がある場合には頭を横向きにする。体を毛布等で覆い、保温して安静に保つ。応急措置を施した後、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 直ちに付着した製品を完全に洗い流す必要がある。製品に触れた部分を水又は微温湯で流しながら石鹼を使用して洗浄する。

目に入った場合 : 直ちに付着した製品を完全に洗い流す必要がある。清浄な水で 30 分間洗浄した後、直ちに眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。揮発性液体を含有する物質なので、無理に吐かせずに、直ちに医師の診断を受ける。

応急措置をする者の保護 : 救助者が有害物質に触れないように保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 泡、粉末、二酸化炭素
 火災時の特定危険有害性 : 有害ガスが発生する恐れがある。
 特定の消火方法 : 可能な限り風上から行う。火元への燃焼源を絶ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火のための放水等によって、環境に影響を及ぼす物質が流失しないように適切な処置をする。
 消火を行う者の保護（保護具等） : 呼吸用保護具を着用する。耐熱服を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。付近の着火源となるようなものを速やかに取り除く。
 風上から作業を行い風下の人を退避させる。
 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出されないように注意する。
 除去方法 : 漏出源を遮断し、ウェス、乾燥砂等に吸収させて回収する。
 2次災害の防止策 : 付近の着火源を速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 技術的対策 : 着衣、皮膚、粘膜に触れたり目に入らないように適切な保護具を着用する。電気設備、機器類は防爆構造のものを扱い、機器、設備には静電気対策を行う。
 注意事項 : 密閉された装置、機器、又は局所排気装置を使用する。取扱いは換気のよい場所で行う。屋外での取扱いは出来るだけ風上から作業する。
 安全取扱い注意事項 : 使用後はその都度密栓する。
 保管
 適切な保管条件 : 火気厳禁。
 直射日光を避け、法規に準じた適切な設備に 40℃以下で保管する。
 混触禁止物質 : 強酸化剤等
 安全な容器包装材料 : 堅牢で密閉性を保持できるものが望ましい。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 局所排気設備
 許容濃度
 管理濃度 : 200ppm(酢酸エチル)
 10ppm(酢酸ビニル)
 日本産業衛生学会（2007年度版） : 200ppm(酢酸エチル)
 ACGIH（2007年度版） : 400ppm(酢酸エチル)
 10ppm(酢酸ビニル)
 保護具
 呼吸用の保護具 : 有機ガス用防毒マスク
 手の保護具 : 耐溶剤性(不浸透性)手袋
 目の保護具 : 側板付き眼鏡、ゴーグル型
 皮膚及び身体の保護具 : 状況に応じ、ゴム長靴、前掛け
 適切な衛生対策 : 汚染した着衣は速やかに交換する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状：液体
 比重：約 0.95 (25°C)
 色：黄色透明
 臭い：溶剤臭
 pH：該当せず

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲

| | |
|--------------------------|-------------------------|
| 沸点 (°C) : 77°C (酢酸エチル) | 沸騰範囲 (°C) : 知見なし |
| 融点 (°C) : 知見なし | 引火点 (°C) : -4°C (酢酸エチル) |
| 発火点 (°C) : 426°C (酢酸エチル) | 分解温度 (°C) : 知見なし |
| 爆発限界 下限 : 2.2vol% | 上限 : 11.5vol% (酢酸エチル) |
| 蒸気圧 : 知見なし | 溶解性(水) : 不溶 |
| (その他溶媒) : 有機溶媒に可溶 | その他データ : 特になし |

10. 安定性及び反応性

安定性：通常条件で安定
 反応性：水とは反応しない
 避けるべき条件：加熱、高温等
 危険有害な分解生成物：CO等
 その他：特になし

11. 有害性情報

急性毒性：

経口 (ラット) : LD₅₀ 5620mg/kg (酢酸エチル)
 2900mg/kg (酢酸ビニル)

局所効果：眼、鼻、喉に刺激作用あり。(溶剤成分に起因する。)

感作性：現在のところ製品としての知見なし

慢性毒性：現在のところ製品としての知見なし

がん原性：IARC グループ 2B (酢酸ビニル)

ACGIH グループ A3 (酢酸ビニル)

催奇形性：現在のところ製品としての知見なし

生殖毒性：現在のところ製品としての知見なし

変異原性：現在のところ製品としての知見なし

その他：なし

12. 環境影響情報

移動性：現在のところ製品としての知見なし

残留性／分解性：現在のところ製品としての知見なし

生体蓄積性：現在のところ製品としての知見なし

生体毒性

魚毒性：現在のところ製品としての知見なし

その他：現在のところ製品としての知見なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託処理する。
 汚染・包装容器 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

注意事項 : 堅牢で容易に変形、破損しない容器に入れ、密栓して輸送する。
 運搬時には、容器からの漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損のないように積込み、荷崩れの防止を確実にを行う。水濡れ注意。
 国内規制 : 消防法 ; 危険物 第四類 第1石油類 非水溶性液体
 道路法 ; 通行制限物質 引火性液体
 危規則 ; 別表第1 国連番号 1133 (接着剤) 等級3 容器等級II
 航空法 ; 別表第1 国連番号 1133 (接着剤) 分類番号3 容器等級II
 国際規制
 国連分類 : クラス3 容器等級II
 国連番号 : 1133 (接着剤)

1 5. 適用法令

消防法 : 危険物 第四類 第1石油類 非水溶性液体
 P R T R 法 : 第一種指定化学物質 No.134 酢酸ビニル(含有量 : 1.8%)
 安衛法
 危険物 : 引火性のもの
 名称通知物質 : 酢酸エチル
 酢酸ビニル
 有機則 : 第二種有機溶剤(酢酸エチル)
 表示物質 : 酢酸エチル
 指針物質 : 第28条第3項に基づき指針を公表した化学物質等(酢酸ビニル)
 船舶安全法 : 別表第1 国連番号 1133 (接着剤) 等級3 容器等級II
 毒劇法 : 該当せず
 悪臭防止法 : 酢酸エチル

1 6. その他の情報

引用文献など

- ①化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)改訂3版、GHS 関係省庁連絡会議
- ②溶剤ハンドブック、浅原照三編、講談社サイエンティフィック
- ③危険物船舶輸送及び貯蔵規則(11訂版)、国土交通省海事局検査測度課監修、海文堂
- ④化学品法令集、化学工業日報社、東京法令出版
- ⑤製品安全データシートの作成指針、(社)日本化学工業協会
- ⑥15308の化学商品、化学工業日報社
- ⑦化審法 化学物質(改訂版6版)、通商産業省基礎産業局化学品安全課監修、化学工業日報社

記載内容の取扱いについて

記載内容は全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがある可能性があります。
 また新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合には、出典等を良く検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。
 なお、含有量、物理化学的性質等は保証値ではありません。
 また、注意事項は通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合にはこの点にご配慮をお願いいたします。